

平成24年度第1回(4月~5月)
議会報告会概要

宮津市議会

平成24年度第1回（4月～5月実施）議会報告会（総括）

1 班編成

班	構成議員	担当地区
1班	北仲篤、坂根栄六、安達稔、木内利明、 松原護、嶋田茂雄	城南・城東、府中、上 宮津、世屋
2班	松本隆、徳本良孝、長林三代、河原末彦、 橋本俊次	東部、栗田、吉津、日 置
3班	宇都宮和子、谷口喜弘、小林宣明、 松浦登美義、小田彰彦	中部・西部、由良、養 老、日ヶ谷
	囲み：班長	

2 各班別の議会報告会開催日時

日 時		場 所	出席者数
4/22(日)	19:00～21:00	(3班) 養老地区公民館	24人
4/23(月)	19:00～21:00	(2班) 城東会館	15
		(3班) 日ヶ谷地区公民館	26
4/25(水)	19:00～21:00	(2班) 栗田区民センター	4
	19:30～21:30	(3班) 由良の里センター	9
4/26(木)	13:30～15:30	(1班) 世屋地区公民館	4
5/10(木)	19:00～21:00	(1班) 府中地区公民館	14

3 各地区の議会報告概要、意見等に対する宮津市のコメント
別添、報告書・コメントのとおり

議 会 報 告 会 の 概 要

開 催 日 時	平成 24 年 4 月 26 日 (木) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分		
開催地域・場所	世屋地区公民館		
出席議員	木内、嶋田、松原、安達、坂根、北仲		
	司会者	北仲	報告者 北仲
参加人数	4 人		
報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 24 年度当初予算総括・・・木内 ●平成 24 年度当初予算（総務文教委員会所管分） ・・・嶋田、松原 ●平成 24 年度当初予算（産業建設福祉委員会所管分） ・・・安達、坂根 ●議員報酬削減、意見書・・・北仲 		
主な要望・提言等	<p>Q 畑地区において、猪の獣害対策として金網（メッシュ）で囲ったエリアの約半分が雪による被害を受けた。雪溶け後に農家組合加入者 8 人で修復してきたが、金網を新調しなければならない部分が残っている。総延長約 50メートルで金網が約 50 枚必要になるが、その購入費用の捻出について相談に乗ってほしい。</p> <p style="padding-left: 2em;">中山間地域特別支払いによる事業ではあるが、豪雪被害対応として取り扱ってもらえるかどうかも教えてほしい。</p> <p>A 調査、協議の上で回答する</p> <p>Q 今年度の除雪対応について感謝しており、ぜひ来年度以降も継続してほしい。昨年までは指定業者は日置から世屋のルート終了後に畑地区に入るため除雪が夕方になることもあったが、今年度は地区内の個人所有ショベルカーを利用することができるため迅速な対応が可能となった。</p> <p>A 担当部署に意見を伝える。</p> <p>Q 世屋地区住民のためにと善意で行動してもらっている NPO の取り組みについては理解できるが、実際に外部からの人達を受け入れること自体が、地区にとってかなりの負担であることも事実。例えば、除雪ボランティアに来てもらえるととしても、ボランティア受け入れに対応する人や滞在場所の確保が難しかった。</p> <p>A 担当部署に伝える。</p> <p>Q 畑小学校跡地に建設される施設運営について負担を感じている住民が多い。地域で必ずしも十分な合意形成ができていたとは言えないことと、高齢化が進んでいることが主な理由ではないかと思うが、事業運営について必要な支援や協力をお願いし</p>		

	<p>たい。</p> <p>A 担当部署に意見を伝える。</p> <p>Q 畑地区住民のバス利用についてのニーズは、日置診療所に行くのと府中へ買い物に行くことの二つ。手法や経費の見直しに際して配慮してほしい。</p> <p>A 担当部署に意見を伝える。</p>
--	--

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成 24 年 5 月 7 日

宮津市議会議長 木内 利明 様

第 1 班 班長 北仲 篤 ⑩

議 会 報 告 会 の 概 要

開 催 日 時	平成 24 年 5 月 10 日 (木) 午後 7 時～ 8 時 30 分		
開催地域・場所	府中地区・府中地区公民館		
出席議員	木内、嶋田、松原、安達、坂根		
	司会者	北仲	報告者 北仲
参加人数	14 人		
報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 24 年度当初予算総括・・・木内 ●平成 24 年度当初予算（総務文教委員会所管分） ・・・嶋田、松原 ●平成 24 年度当初予算（産業建設福祉委員会所管分） ・・・安達、坂根 ●議員報酬削減、意見書・・・北仲 		
主な質疑	<p>Q(株)まちづくり推進機構支援事業の約 6 億円の内容は？</p> <p>A 建設時借入金の返済金を宮津市からに貸し付けているもの。実質的には、(株)まちづくり推進機構からの返済ができない状況が続いており、年度末の数日間だけ市に返済され、翌年度当初に年度ごとの返済金額約 1 億 2,000 万円を加算して貸し付けることを繰り返しているため現在の金額になっている。</p> <p>Q 地方バス路線運行維持対策の 3,082 万円に 200 円バスに関連する経費は含まれているのか？</p> <p>A 既存の路線バス運行経費を丹海に補助するものであり、200 円バスについての経費は含まれていない。</p> <p>Q U I ターン推進事業の中に空き家改修補助制度も含まれているようだが、どのように周知しているのか？この地域にも空き家はたくさんあるが、登録できることを知っている持ち主はほとんどいない。</p> <p>A 担当部署に伝える。 U I ターン推進事業はみやづビジョン 2011 の中でも重点戦略に位置づけられているが、具体的な実行計画にあたるアクションプログラムの策定ができていないため予算審査や政策議論ができない状況。議会から市に対して早急な策定を求めている。</p>		
主な要望・提言等	<p>Q 中野地区に長年放置された空き家があり、適正に管理してもらおう、この 5 年間、自治会から市に毎年要望しているが状況は変わっていない。さらに今年の冬の豪雪で屋根が崩壊した。この家屋が面している道路は小学生の通学路であると同時に多くの観光客も散策されるため、早急に対応してほしい。他の自治体ではこのようなケースに使える</p>		

	補助金もあると聞いているが、宮津市でも検討してほしい。 A 基本的には個人の財産の処理に公的なお金を使えないため、補助は難しい。ただ地域の現状と要望は担当部署に伝え、現状について調査した結果を地域に回答する。
--	---

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成 24 年 5 月 14 日

宮津市議会議長 木内 利明 様

第 1 班 班長 北仲 篤 ㊟

議 会 報 告 会 の 概 要

開 催 日 時	平成 24 年 4 月 23 日 (月) 午後 7 時 00 分～9 時 00 分		
開催地域・場所	東部地区・城東会館		
出席議員	橋本俊次・徳本良孝・長林三代・河原末彦・松本隆		
	司会者	松本 隆	報告者 全員
参加人数	15人		
報告内容	<p>議会基本条例制定の目的及び条文の説明 (橋本俊次)</p> <p>平成 24 年度財政予算の説明 (徳本良孝)</p> <p>平成 24 年度一般会計予算・総務文教委員会付託部分の説明 (河原末彦)</p> <p>平成 24 年度一般会計予算・産業建設福祉委員会付託部分の説明 (松本 隆)</p> <p>特別会計予算及び条例改正の説明 (長林三代)</p>		
主な要望・提言等	<p>〈評価〉 これまで市民と議会が乖離していた。議会基本条例の制定を評価するとともに、これからは乖離しないよう努めてほしい。</p> <p>〈意見〉 Q. 「パーはま」について、ベロタクシーやUI ターンの事業を行っているが、本業をしっかりやってほしい。 A. 正式名称「まちづくり推進機構(株)」は、駐車場部分の収入により経常的な経費は賄っているが、初期投資の返済が不能となっており、現在市としては整理清算の仕方を検討中である。</p> <p>Q. KTR の赤字について、60 歳以上の高齢者の人件費の負担が多い。観光客の増加を図る旅館組合や観光協会の関係者がサポーター会員に加入していない。もっと努力せよ。 A. (後日回答)</p> <p>Q. 竹資源（新産業起こし推進事業）は、誰もが赤字になることがわかる。今後の展開を注視せよ。 A. 本件について、先日の総務文教委員会において、今期の事業実績により、今後の事業継続について議会として判断するとの意見をつけている。</p> <p>Q. ICT の 613 万 3 千円の返還金を立替えているのはおかしい。なぜ告訴しない。 A. 現在は市長が責任を持って今期中に対処するとの答弁を聞いている。</p>		

Q. 議員定数について、2万人弱の人口に対し多いのではないか。

A. 議会基本条例（議員定数）第19条に則り提案していく。

Q. 東日本大震災のガレキ処理の受け入れについて、綿密な検査をしない限り受け入れてほしくない。

A. 由良海岸の漂着ゴミの処理もあるが、市長が記者会見で前向きに検討との回答をしている。

Q. 議員の報告会の説明が、行政の説明に聞こえる。一考を講じられたい。

A. 今後において、よりわかりやすい説明に心掛けていく。

Q. 国保税値上げに賛成した議員は、なぜ賛成したか説明してほしい。

A. 議会基本条例に則り、議員一人ひとりの個人的な見解等慎む。

Q. 要望や即答できない内容について、報告の場を設けていただけるのか。

A. 即答できない内容は、班会を開き議長に報告し、後日、回答していく。

Q. 議会基本条例の見直しはできないのか。

A. 必要があると認めるときは、この条例の規定について検討を加え所要の措置を講ずる。

Q. 委員会の傍聴になぜ許可がいるのか。

A. 議会・委員会も原則公開なので特に傍聴を拒否した実態はないと考えているが、会場等の都合により人数制限をすることはある。

〈 要望 〉

○議会の傍聴者に議案に係る資料の配布はできないのか。

○請願・陳情は、党利党略抜きで努力してほしい。

	<p>○大飯原発再開の反対に、市議会としてもコメントを出してほしい。</p> <p>○健康づくり推進事業に、議員がもっと取り組むべし。</p>
--	---

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成24年5月8日

宮津市議会議長 木内 利明 様

第2班 班長 松本 隆

⑩

議 会 報 告 会 の 概 要

開 催 日 時	平成 24 年 4 月 25 日 (水) 午後 7 時 00 分～9 時 00 分		
開催地域・場所	栗田地区・栗田区民センター		
出席議員	橋本俊次・徳本良孝・長林三代・河原末彦・松本隆		
	司会者	松本 隆	報告者 全員
参加人数	4 人		
報告内容	<p>議会基本条例制定の目的及び条文の説明 (橋本俊次)</p> <p>平成 24 年度財政予算の説明 (徳本良孝)</p> <p>平成 24 年度一般会計予算・総務文教委員会付託部分の説明 (河原末彦)</p> <p>平成 24 年度一般会計予算・産業建設福祉委員会付託部分の説明 (松本 隆)</p> <p>特別会計予算及び条例改正の説明 (長林三代)</p>		
主な要望・提言等	<p>〈 意見 〉</p> <p>Q. KTR 宮津駅のエレベーターが 1 番・2 番ホームに設置されたが 3 番ホームがないのはどうしてか。</p> <p>A. 今回の事業は主に観光客を対象として、初期の階段昇降機からエレベーターに変更したもので、大阪・京都方面からの乗降用の 1 番・2 番ホーム間に設置されたものである。</p> <p>Q. 京都交通が引き上げたあと、バスが由良まで行っていない。なぜできなかったのか。</p> <p>A. 詳しい理由はよくわからないが、今後は学校の統廃合により栗田地区への通学手段として混乗方式のバスが考えられる。</p> <p>Q. KTR の待ち時間に市内のまちなかを紹介できるところがない。</p> <p>A. 現状はその通りで街中に魅力的な施設や場所がないので大きな課題である。</p> <p>Q. 市内に全国の食の有名ブランドを一か所に集める施設を作ってはどうか。</p> <p>A. 「食のテーマパーク」なども含め、その具現化に努力していきたい。</p> <p>Q. 竹下内閣当時の「ふるさと創生」の 1 億円で公園に「輪」を作ったが、あのようなものを作った根拠は。</p> <p>A. 当時、検討委員会を立ち上げ色々検討して最終的に芸術性の高いモニュメント作成で合意されたものである。</p>		

	<p>Q.京都市や日立造船が生ごみを利用してメタノールを生成する研究をしているが、参考にされてはどうか。（意見）</p> <p>A.近隣の京丹後市にも同様の施設があるが、大した実績が上っていないのが現状である。</p> <p>Q.KTR のダイヤについて、運行すればするほど赤字が出る。本数を考え効率的なダイヤ改正にしてはどうか。</p> <p>A.まだ公にされていないが、沿線自治体間の KTR 存続や利用客を増やすことへの取り組みや努力、そして負担金等についても議論がされているようだ。</p> <p>今後、乗降区間ごとのデータを収集し、不採算率等の検討もされていると聞いている。</p> <p>〈 要望 〉</p> <p>○宮津駅に屋根つき通路ができたが雨が吹きこむ。対策を。</p> <p>○宮津駅駐輪場の通路に自転車が止めてあることが多く通行に迷惑する。</p> <p>○だんご屋等B級グルメのアピールを上手にされたい。</p>
--	---

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成24年5月8日

宮津市議会議長 木内 利明 様

第2班 班長 松本 隆

⑩

議 会 報 告 会 の 概 要

開催日時	平成 24 年 4 月 22 日 午後 7 時～ 9 時		
開催地域・場所	養老公民館		
出席議員	宇都宮、小田、松浦、谷口、小林、木内		
	司会者	宇都宮 和子	報告者 宇都宮 和子
参加人数	24 人		
報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 24 年度当初予算総括・・・小田 ●平成 24 年度当初予算（総務文教委員会所管分）・・・小田、松浦 ●平成 24 年度当初予算（産業建設福祉委員会所管分）・・・小林、谷口 ●議員報酬削減、意見書・・・宇都宮 		
主な要望・提言	<p>Q 学校再編について、その後の状況はどうなっているのか。再編を進める時期に来ている。議会としてはどう考えているのか。市は何も言ってこない。提案した市が継続して説明すべきではないか。親の意見も聞くべきではないか。地元任せ過ぎる。対案を出せとは何事か。</p> <p>A 持ち帰って委員会で取りまとめ、教育長に提出する。</p> <p>Q 消防団の手当を 2000 円から 1800 円に減額したのはなぜか。災害が多い昨今、長江は孤立してしまう。消防団が頼りだ。</p> <p>A 手当を削るなど意見は出している。基本はボランティアだが、上がるよう努力したい。</p> <p>○条例や制度が変わった時はもっと積極的に説明してもらいたい。</p> <p>Q 浄化槽については地区単位で取り組めるよう提案してほしい。</p> <p>A 議会でも質問が出ている。行政も P F I 方式について調査を始めているようだ。</p> <p>Q 波路に建設中の特養の収容人数は。待機者は解消出来るか。リハビリ少ない。受け皿がない。</p> <p>A 特養 80 床。ショート 20 床で待機者はほぼ解消の見込み。リハビリは今後の課題。取り組んでいきたい。</p> <p>Q みやづビジョンは、はっきり数値目標などで内容を示すべきではないか。ビジョンの市民説明にしても対象人員（197 人）が少なすぎる。ビジョンの達成度を検証する委員が必要ではないか。地域の活性化とか経済力を高めるとは一体どういうことか。アクションプログラムの確立ができていない。</p> <p>A 今回のビジョンは、従来の法で義務付けられた総合計画と違い、今後 10 年間の市政運営の指針（理念）とし策定されたもの。数値目標は設定されていない。また法改正により、従来のような総合計画を作るかどうかは各自治体の判断。したがって、当市では基本構想「みやづビジョン 2011」として策定提案され、議</p>		

決事件として取り扱った。

みやづビジョンは、2つの重点戦略「自立循環型経済社会への転換」「定住促進」が掲げられ、これに取り組むことにより今日の閉塞感を断ち切り、地域の活性化と地域経済力を高めたいとしている。具体的なアクションプランで示していくとしているが、ご質問のとおり未だ作成中だ。議会としても後だしにならないように早く作成するように言っている。また、アクションプログラムに議会としてどう関与してゆくかについては、検証も含めて今後検討していきたい。

Q 新設の特養はユニット型か。

A その通り。

Q 民間保育所への補助は、もっと効率的に運用できるのではないか。

A 民営しても人件費の問題あり。民営化して早朝保育や休日保育に取り組むなどメリット部分は大きい。

○職員数は減らさなくても、給料を下げて、職員数はある程度確保するべき。

Q 空き家対策として、解体費を市が負担し、土地を市が保有することにしたら。

A 持ち主がどこにいるのか分からない。転売しているとなおさら分からない。固定資産関係から周知するよう働きかける。管理義務を付けるべきではないかと思う。

○消防の支援隊の年間手当が5,000円で、4,800円の保険料が控除され何も残らない。

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成24年5月10日

宮津市議会議長 木内 利明 様

第3班 班長 宇都宮 和子 ㊟

議 会 報 告 会 の 概 要

開催日時	平成 24 年 4 月 23 日 午後 7 時～ 9 時		
開催地域・場所	日ヶ谷地区出張所		
出席議員	宇都宮、小田、松浦、谷口、小林、木内		
	司会者	宇都宮 和子	報告者 宇都宮 和子
参加人数	26 人		
報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 24 年度当初予算総括・・・小田 ●平成 24 年度当初予算（総務文教委員会所管分）・・・小田、松浦 ●平成 24 年度当初予算（産業建設福祉委員会所管分）・・・小林、谷口 ●議員報酬削減、意見書・・・宇都宮 		
主な要望・提言	<p>Q し尿処理施設の進捗状況は。新しいものを建てる計画なのか。</p> <p>A し尿をメタン発酵させ、液肥として使う研究が現在進行中である。その結果から新しい処理場を作る計画がある。</p> <p>Q 清掃工場はどうなるのか。</p> <p>A 現在 1 市 2 町間で協議中。</p> <p>Q 議員定数問題は怎么样了のか。</p> <p>A 前回改選前に宮津市議会を考える会（市民団体 15 団体代表）から人口 2 万人を切ったので減員すべきと要望あり。議会改革特別委員会で 12 回議論し、全会一致ではなかったが 2 名減の 16 人で了解を得た。議決の上、今期より定数 16 名で選挙を実施し、現在に至っている。</p> <p>○特産品開発の補助金があるが 200 万円で足りるのか。宮津市は過疎対策にお金を出さない。日ヶ谷のような高齢化社会では補助金なしでは何もできないし続かない。補助金をもっと続けて欲しい。</p> <p>Q 中山間地の補助請求の手続きが煩雑で、年寄りには無理だ。市でやってもらいたい。</p> <p>A 国、府、市の書類がそのまま降りてくることが問題。行政間の調整が必要。市へ伝える。</p> <p>Q 有害鳥獣の駆除をもっと早く、徹底的にやってもらいたい。獣の方が人間より保護されている。猟友会へ農家（現場）の要望を伝えてもらいたい。</p> <p>A 市へ伝える。</p> <p>○花火など駆除対策を見ても、人口に応じて花火を配って、実際のどの地区に出没が多いのかも調べないでいる。実態を把握すべきだ。花火の性能も良くない。</p>		

	<p>Q 国保の値上げと後期高齢者の値上げは、連動し二重の値上げなのか。</p> <p>A そうではない。</p> <p>○インターバル速歩で健康維持と言われても年収の少ない者ほど働くのに忙しい。運動したりする時間がない。</p> <p>Q 後期高齢者で収入によって負担する保険料が違うのか。</p> <p>A その通り。</p> <p>Q 宮津の人口規模では町並みだ。議員の報酬も町並みでよいのではないか。</p> <p>A 市と町では行政の仕事や権限移譲が全然違う。町には保健センターの設置も必要ない。市議会議員の方が公務の負担は多い。従って、人口にかかわらず報酬格差が生じているものと思っている。</p> <p>Q 議員年金が廃止となれば、年金の掛け金分は減額すべきではないか。</p> <p>A 議員は辞めると生涯の生活保障は何もなくなってしまう。従って、このような制度ができたと思う。</p> <p>Q 議員報酬を減額するよりもっと専念してもらう方がよい。</p> <p>A 議員報酬の考え方には市民の中でも賛否両論がある。議会の存在意義を市民の皆さんに十分認知していただくよう努めていきたい。</p>
--	--

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成24年5月10日

宮津市議会議長 木内 利明 様

第3班 班長 宇都宮 和子 ㊟

議会報告会の概要

開催日時	平成 24 年 4 月 25 日 午後 7 時～9 時		
開催地域・場所	由良の里センター		
出席議員	宇都宮、小田、松浦、谷口、小林、木内		
	司会者	宇都宮 和子	報告者 宇都宮 和子
参加人数	9 人		
報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 24 年度当初予算総括・・・小田 ●平成 24 年度当初予算（総務文教委員会所管分）・・・小田、松浦 ●平成 24 年度当初予算（産業建設福祉委員会所管分）・・・小林、谷口 ●議員報酬削減、意見書・・・宇都宮 		
主な要望・提言	<p>Q 宮津の人口は 10 年前に比べてどれくらい減っているのか。どうしたら人口が増えるのか。議会だよりの記事の中で「主な内容」の定住促進のくくり方がおかしいのではないか。人口減少の理由と対策は。</p> <p>A 市発足当時は 35,000～36,000 人であった。2 年前 2 万人を切ってしまった。人口減少は宮津だけの問題ではない。人口増加策は至難の業である。みやづビジョンに定住促進を掲げており、福祉施設の整備で雇用を確保し人口減に歯止めをかけることとしている。若者定住のため、①子どもの医療費無料化、②住環境の充実、③保育所民営化によるサービスの向上、④働きながら子育てできる環境整備で若い人が宮津に住んでもらう施策を講じている。</p> <p>Q 企業を誘致しようという気概が感じられない。土地が少ないというのは理由にはならない。</p> <p>A 雇用の場の確保という観点からあきらめていないが、円高が進む中で企業の目は海外に向いていることはご理解いただけていると思う。今のところ現実的な策として福祉施設整備（誘致）になってしまっている。</p> <p>Q 介護施設ができれば保険料が上がると思うと、介護施設ばかり作るのはいかかなものか。</p> <p>A 今後、福祉施設の過剰投資にならないよう議会も十分チェックしてゆきたい。</p> <p>Q 報告会をやってもらい議会に直接ものが言えることはいいことだ。議員は 1 年間 78 日しか会議がない。それ以外何をしているのかわからない。職員の机はあるのに議員にはない。ソファがあるが、それで仕事ができるのか。行政は首長主義だ。議員はもっと政策集団として提案するべきだ。議会が決定して初めて首長の執行権が生まれると思う。</p> <p>A 貴重なご意見をいただいた。議員は選挙の時は色々良いことを言っているが、選挙が終わったら何をやっているのか分からないと指摘も受けている。この議会報告を始めたのも議会活動を少しでも市民の皆様理解していただくためであり、今後市民の中に飛び込んで活動（見</p>		

える化)を行い、市民に開かれた議会、市民に信頼される議会を目指そうと考えている。議員は、365日議員としてスタンバイして公務に従事出来る体制を整えておく必要あり。市議会の役割、権能を最大限発揮して市民が求める団体の裁量の意志決定が図られるよう全力を傾ける。

Q 民間の養護施設の建設になぜ行政が金を出す必要があるのか。他府県の業者が施設を建設するのはなぜか。そのメリット、デメリットは。市の指導や対応が悪いので、地元ではなく他府県の業者が来るのではないか。

A 一番はじめは地元の福祉法人に声をかけているが、地元ではこれ以上無理との返事があり、他府県の業者に依頼することとなったと聞いている。デメリットをあえて言えば、建築請負業者が地元でないこと。メリットとして地元雇用が図られること。入居者の食材は地元の消費拡大に繋がること。

Q 福祉や教育を言っていればいいというものではない。宮津活性化の道を探して進んでほしい。弱気や最初からあきらめているように感じる。

A 議会としては、かねてより金がなければ知恵を出せと言っている。行政も執行機関から政策機関に脱皮する意識改革が必要。といつも言っている。特に地方分権社会においては地域間競争が激化してくる。他市に負けない気概が必要。多くの市民が宮津に住みたい、住んで良かったと言える町になるよう議会としても注視していきたい。

○学校統廃合で由良地区として出した総合案が、全体の意志を反映していないと議員が一般質問している。自治連としては、会議を重ね苦渋の決断として統合を市に返答したつもりだ。当該議員に現地でどのような取材をしたのか状況を聞いてもらいたい。またこの件について報告会等地元民がたくさんいる中で返事をもらいたい。

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成24年5月10日

宮津市議会議長 木内 利明 様

第3班 班長 宇都宮 和子 ㊟

世屋地区（H24.4.26）	
意見等の概要	畑地区の有害鳥獣対策について、金網の柵が雪害を受け、その新調が必要となっている。市で度相談に乗ってほしい。
市のコメント (産業振興室)	<ul style="list-style-type: none"> ●防護柵の雪害対策については、府とも協議を行いました。柵は作物収穫後、降雪前に撤去することが基本とのこと。 ●なお、畑地区では、中山間地域直接支払交付金事業に取り組まれており、同交付金の活用により対応いただきますようお願いいたします。
意見等の概要	畑小学校跡地の整備施設について、事業運営に必要な支援や協力を願いたい。
市のコメント (健康福祉室)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の皆さんの憩いのスペースや大雪や災害時の一時的な避難場所として、また、そば打ちや紙漉きの体験工房を備えた交流や伝統技術の伝承の場として、本年1月に「畑婆爺ニアセンター」を整備しました。 ●高齢化率が80パーセントを超える中で、特にそばや紙漉きの体験工房の運営については、継続性の課題も含め心配があると思います。 ●そうした中で、人材の確保や運営収入を上げていくため、空き家や空き農地を活用した外からの移住・定住者の受け入れなど、円滑な事業運営・管理運営に向けて、市としても自治会と一緒に協賛・検討していきたいと考えています。
意見等の概要	畑地区のバス利用について、病院（診療所）と買物利用の観点から、手法や経費の見直しに際して配慮してほしい。
市のコメント (企画総務室)	<ul style="list-style-type: none"> ●世屋畑線については、費用対効果の面で課題があり、議会からもこの点について指摘を受けています。 ●交通弱者の足の確保を大前提として、ご意見を十分に踏まえながら、手法等を検討していきたいと考えています。
府中地区（H24.5.10）	
意見等の概要	「空き家改修補助制度」等も含め、UIターン推進事業の取組について、どのように周知しているのか。
市のコメント (自立循環室)	<ul style="list-style-type: none"> ●宮津UIターン推進事業については、平成23年度から人口の増加と地域の活性化を目的に、市内にある空き家・空き店舗の情報収集を行い、UIターン希望者にその情報提供や総合的なサポートを行う総合窓口として、「みやづUIターンサポートセンター」を開設しています。 ●事業全体のことや、その中の「空き家改修補助制度」の周知については、ホームページの開設による情報発信をはじめ、広報紙、自治連総会等による協力をお願い、また固定資産税納税通知書の市外発送分に空き家等の情報提供依頼文書を同封するなどして、適宜周知に努めています。 ●現在の登録件数は29件ですが、今後とも引き続き事業周知に努め、空き家等情報の充実を図っていきたくと考えております。
意見等の概要	中野地区で崩壊した空き家について、早急な対応が必要。市として、補助金制度のことも含めて検討してほしい。
市のコメント (建設室)	<ul style="list-style-type: none"> ●ご指摘の中野地区の空き家は、今年の大雪で倒壊し、道路の通行に支障を来したことから、道路部分については市において撤去し、宅地部分

	<p>については、本年6月末から所有者において撤去が行われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●放置状態の空き家が年々増加しており、市としてもこれにかかる対策は重要な課題と考えています。 ●こうしたことから、先ずは、地域や自治会等と一緒にあって、所有者に適正な管理を求めていくとともに、他市の対応事例等も踏まえながら、より効果的な対応方策を検討していきたいと考えています。 ●なお、補助制度（財政的支援）の創設については、あくまでも「個人の財産は個人で管理すべきもの」という大前提の中で、公益としての対応の是非等について、慎重な検討が必要と考えています。（実施するとしても、補助対象の可否の線引きなど非常に難しい面があります）
宮津東部地区（H24.4.23）	
意見等の概要	KTRの赤字原因の一つに高齢者社員の人件費の高さがあるのでは。サポーター会員に観光関係者の加入が少ないのでは。もっと努力してほしい。
市のコメント (企画総務室)	<ul style="list-style-type: none"> ●KTRの維持発展を図る上で、観光客の利用促進対策は非常に重要と考えており、KTRと観光関係者の連携によって相乗効果が得られるよう、市としても力を入れていくこととしています。 ●こうした中で、観光関係者に限らず、市民全体にKTRを支えていこうという機運が広がり、その結果として、サポーターズクラブの会員登録も増えていくことを期待しています。 ●なお、KTR(株)においては、職員の減員や高齢職員の再任用制度活用など人件費削減に取り組まれており、3年前に比べて△1.7億円の経営努力がなされています。
意見等の概要	ICT推進事業の返還金(613万3千円)を市が市民の税金で支払うのはおかしい。
市のコメント (健康福祉室)	<ul style="list-style-type: none"> ●国への返還金のうち保守料相当額(546万3千円)については、その財源として協力金という形で保守業務の契約を締結した2業者に納入をお願いし、それぞれ3月と5月に納入いただいております。 ●なお、返還金と協力金との差額(70万円)については、未配布のICカード相当額であり、これについては財源を一般財源とすることで議会の議決を受けており、今後も高齢者健康見守り・買物支援サービス等福祉の充実のため活用していくこととしておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
意見等の概要	東日本大震災の災害がれきの受入処理について、綿密な検査をしない限り、受け入れてほしくない。
市のコメント (市民室)	<ul style="list-style-type: none"> ●本市においては、東日本大震災にかかる災害廃棄物の受け入れに向けて、舞鶴市での試験焼却結果による安全性を確認した上で、関西広域連合の安全基準に準拠し、京都府の技術指導や協力を受けながら、具体的方法や手順等について検討していくこととしていました。 ●そうした一方で、今般の国の広域処理にかかる方針の見直しに伴い、舞鶴市での試験焼却が当面見合わされることとなりました。 ●これに伴い、本市としても、受入に向けての検討を当面見合わせることにしました。

栗田地区（H24. 4. 25）	
意見等の概要	KTR 宮津駅のエレベータが1番・2番ホームに設置されたが、3番ホームにないのはどうか。
市のコメント (企画総務室)	<ul style="list-style-type: none"> ●宮津駅の3番ホームまでエレベータが設置できればベストでしたが、これにかかる経費が数倍に膨らむこと、また3番ホームの発着電車が比較的少ないこと等を勘案し断念したものです。 ●なお、今般の整備にあわせて、3番ホーム側の宮福線の出入口にスロープを整備し、車いす等の利用者への配慮をさせていただきました。 ※宮津駅、天橋立駅の両駅でのエレベータ等整備工事費に約3億円を要しています。
意見等の概要	京都交通が引き上げたあと、バスが由良まで行っていない。なぜできなかったのか。
市のコメント (企画総務室)	<ul style="list-style-type: none"> ●京都交通の撤退に際しては、関係する舞鶴市等とも協議を行いました。もともと京都交通路線はKTRと併走する路線であり、宮津市内においてはKTRを利用いただくことで、概ねの公共交通需要がカバーできると考えたものです。 ●市としては、KTRの経営が厳しい中で、KTRの積極的に利用をお願いしたいと考えています。 ●なお、今般の小学校統廃合に伴う児童の通学方法については、由良地区から児童専用のスクールバスをとの要望を受けており、市としても、その方向で対応していくこととして考えています。
意見等の概要	KTRの待ち時間に市内のまちなかを紹介できる場所がない。
市のコメント (企画総務室)	<ul style="list-style-type: none"> ●宮津市街地の魅力づくりについて、拠点となるべき浜町再開発用地等の整備検討を進めているほか、まちなか観光における集客の取り組みや、町並み景観づくりなど総合的に進めようとしているところです。 ●こうした取り組みを一步一步進める中で、中心市街地の魅力を高めることが大切と考えています。
意見等の概要	KTRのダイヤについて、運行すればするほど赤字が出る。本数を考え効率的なダイヤ改正にしてはどうか。
市のコメント (企画総務室)	<ul style="list-style-type: none"> ●KTRの赤字が全国3セク鉄道の中で一番になるなど、その経営は極めて厳しい中で、昨年からは、経営や安全運行等を検討する「府北部地域総合公共交通検討会」と集客・増収策を提言する「チームKTR」が相次いで立ち上げられ、維持存続に向けての検討が進められております。 ●市としても、KTRの健全な維持存続を図るため、観光客による増収などの取り組みを強めるとともに、市民に利用していただきやすい環境づくりに努めていきたいと考えています。 ●また一方で、存続のためには、一定の辛抱や負担もやむを得ないものと考えています。
養老地区（H24. 4. 25）	
意見等の概要	学校再編について、その後の状況はどうなっているのか。地元任せすぎるのでなく、市としての考え方を示すべき。

市のコメント (教育委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ●橋北地区の学校再編にあたっては、養老地区・日置地区の皆様にご真摯に協議をしていただき、感謝を申し上げます。 ●そうした中で、養老地区においては、市の再編案について、同意をいただいております。 ●また、日置地区においても、教育委員会から要請し、引き続き協議をお願いしているところです。 ●児童生徒の教育環境のためにも、早急に学校再編を進めていく必要があり、地域の皆様の理解を得られるよう努力をしていきます。 ●養老地区の皆様にも、その後の経過や状況等について、随時、情報提供などを行い、情報共有・意見交換等を行っていきたくと考えています。 																								
意見等の概要	消防団は市民の大きな頼り。消防団の訓練手当を1800円に減額したのはなぜか。																								
市のコメント (企画総務室)	<ul style="list-style-type: none"> ●消防団員の皆様には、地域防災の要として、昼夜を問わず活動していただいております。心から感謝しています。 ●その活動に対しては、「年間報酬」のほか「本番の出動手当」と「訓練の出動手当」で対応をさせていただいております。 ●こうした中で、平成18年からの「財政再建」では、自治会と消防団には原則減額等を行わないとの方針で対応してきましたが、平成23年からの更なる対応の必要性を踏まえて、「自治会と消防団にも一部お願いを」という考え方の中で、府北部市町の消防団員手当の状況も勘案しながら、消防団とも協議を行い、「訓練手当」に限って2,000円から1,800円への減額を行ったものです。 <p>[参考:出動手当の状況] (単位:円/人)</p> <table border="1" data-bbox="411 1196 1484 1547"> <thead> <tr> <th></th> <th>宮津市</th> <th>与謝野町</th> <th>伊根町</th> <th>舞鶴市</th> <th>綾部市</th> <th>福知山市</th> <th>京丹後市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常出動</td> <td>2,000</td> <td>2,200</td> <td>2,500</td> <td>1,000</td> <td>1,500</td> <td>1,200</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>訓練出動</td> <td>1,800</td> <td>訓練 1,100 予 800</td> <td>2h以内 700 2h超 1,500</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>年 3,900</td> <td>1,500</td> </tr> </tbody> </table>		宮津市	与謝野町	伊根町	舞鶴市	綾部市	福知山市	京丹後市	非常出動	2,000	2,200	2,500	1,000	1,500	1,200	1,600	訓練出動	1,800	訓練 1,100 予 800	2h以内 700 2h超 1,500	1,000	1,000	年 3,900	1,500
	宮津市	与謝野町	伊根町	舞鶴市	綾部市	福知山市	京丹後市																		
非常出動	2,000	2,200	2,500	1,000	1,500	1,200	1,600																		
訓練出動	1,800	訓練 1,100 予 800	2h以内 700 2h超 1,500	1,000	1,000	年 3,900	1,500																		
意見等の概要	浄化槽については、地区単位で取り組めるようにしてほしい。																								
市のコメント (上下水道室)	<ul style="list-style-type: none"> ●本市においては、「公共下水道による集合処理」と「浄化槽による個別処理」に大別して、水洗化を推進しています。 ●こうした中で、浄化槽による個別処理については、個人負担の軽減を図るために創設した市の補助制度を活用いただく中で、各家庭等の単位で設置の普及を図ることとしております。ご理解をお願いします。 																								
意見等の概要	空き家対策として、解体費を市が負担し、土地を市が保有することとしてはどうか。																								
市のコメント (建設室)	●建物の管理は、その財産の所有者が責任をもって管理することが原則となります。																								

	<ul style="list-style-type: none"> ●市が解体費を負担し、その土地を市が所有することについては、当該土地が公益上必要であると認められるものでなければ困難であります。 ●しかしながら、放置状態の空き家が年々増加しており、市としてもこれにかかる対策は重要な課題と考えています。 ●こうしたことから、先ずは、地域や自治会等と一緒にあって、所有者に適正な管理を求めていくとともに、他市の対応事例等も踏まえながら、より効果的な対応方策を検討していきたいと考えています。
意見等の概要	消防団支援隊の年間手当が5千円の中で、4800円の保険料控除で何も残らない。
市のコメント (企画総務室)	<ul style="list-style-type: none"> ●危険を伴う消防団活動にあたり、消防団員の災害補償は、「公務災害補償」として、市の公費で措置をしています。 ●この公費補償制度とは別に、消防団員の「任意加入共済制度」が設けられています。 ●後者への加入はあくまでも任意という中で、本市消防団においては、自己負担により正規団員・支援団員の区別なく加入をされているものです。
日ヶ谷地区 (H24. 4. 23)	
意見等の概要	特産品開発の補助金制度をもっと続けてほしい。
市のコメント (産業振興室)	<ul style="list-style-type: none"> ●特産品補助は、H22年度から実施しており、要望のあった事業に対し、ほぼ要望どおり補助支援をしています。 ●H24は、予算額の半分程度の申請であり、再募集するかの検討をしていますので、実施の際にはぜひご活用(申請)をお願いします。 ●補助金の継続的支援ですが、共に育む「命の里」事業について、H23年度までを支援期間とされていましたが、貴地区の取り組みについてH24年度の継続支援を府に要望し、このほど拠点施設の整備支援が実現したものです。 ●今後は、拠点施設を核に、住民が協働し、地域を元気にしていただくとともに、必要な支援は協議をさせていただきます。
意見等の概要	中山間地の補助請求手続きが煩雑。市で対応してほしい。
市のコメント (産業振興室)	<ul style="list-style-type: none"> ●事業主体は、地元組織であり、事業主体の役目として一定の事務書類の作成は、地域でお世話になる必要があります。 ●市としましても、担当職員が精一杯サポートさせていただいていると考えています。 ●ご不明な点は、その都度ご相談いただきながら進めたいと考えていますのでよろしくをお願いします。
意見等の概要	有害鳥獣対策をもっと早く徹底的に行ってほしい。
市のコメント (産業振興室)	<ul style="list-style-type: none"> ●有害鳥獣被害は、日ヶ谷地区にとって重大な問題と認識しており、市としましても、府と協議しながら、出来るだけの対策に努めています。 ●猟友会におかれても、農家被害を認識され、積極的に協力していただいておりますが、会員数の減少といった課題に直面されています。 ●こうした中で、まずは可能な範囲で、地域内での狩猟免許の取得を促進していただくこともご検討いただきますようお願いいたします。

由良地区（H24. 4. 25）

意見等の概要	介護施設が出来たら保険料が上がる。介護施設ばかりつくるのはいかなものか。
市のコメント (健康福祉室)	<ul style="list-style-type: none">●平成 23 年 6 月現在で、特別養護老人ホームへの入所待機者が 109 人いることや、今後も待機者が増加する見込みであることから、現在、本年 11 月の開設に向けて、波路地区において特別養護老人ホーム（80 床）の整備工事が行われています。●更には、本年 3 月に策定した市高齢者保健福祉計画において、平成 26 年度を目標に、特別養護老人ホーム（80 床）の整備を進め、待機者の解消を図っていくこととしています。●ご指摘のとおり介護施設の充実は、介護保険料の上昇という相関関係にあります。一方、施設サービスは介護者の負担を軽減し、特に高齢者世帯における老老介護の負担軽減や一人暮らし高齢者の対応策としても必要なサービスであることをご理解いただきたいと存じます。●また、平成 27 年度以降の特別養護老人ホーム等の介護保険施設の整備についても、施設サービスの需要と介護保険料の負担を考慮しながら、総合的に検討していきたいと考えております。